

安曇野市つながりひろがる協働推進委員会 会議概要

1	会 議 名	令和8年度 第1回安曇野市つながりひろがる協働推進委員会
2	日 時	令和8年7月8日(水) 午前9時30分から午前11時30分
3	会 場	安曇野市 堀金公民館 3階 第1会議室
4	出 席 者	磯野会長、細川副会長、百瀬委員、宇都委員、飯田委員、古越委員、山田委員、 亀井委員、川崎委員、若林委員、高山委員、北村委員 計12名
5	市側出席者	赤沼市民生活部長、地域づくり課 征矢野課長、金子係長、百瀬主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	令和8年7月10日

協 議 事 項 等

1 概要

※団体推薦の委員交代について事務局から報告し、交代委員へ委嘱書を交付。

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 自己紹介

(4) 委員会の目的及び本年度の予定について

(事務局から説明：以下要点)

- ・委員会の設置目的、役割、所掌事務、委員の役割、本年度の会議予定、視察研修の日程について説明。

※質問等なし

(5) 報告事項

① 市民活動サポートセンターについて

(事務局から説明：以下要点)

- ・市民活動サポートセンターの設置経緯、目的、移設の経過、現在の利用状況について説明。
- ・センター紹介パンフレットを5部ずつ配布し、PRの協力を依頼。

(委員)

- ・新たなセンターの開設を歓迎する。
- ・当面は認知度の向上が課題である。委員の皆さんにもPRにご協力いただきたい。

② 計画に関連する事業の一部概要紹介

(事務局から説明：以下要点)

- ・各事業の概要、実績、課題について説明。

(委員)

- ・つながりひろがる地域づくり事業補助金活用団体の事業の具体例を紹介してほしい。
- ・市の補助を受ける団体が自己満足に陥らないよう、市民に公開する意識が大切。
- ・市民協働事業提案制度は、関係部署との庁内連携を強化することで、市民からの提案がしやすくなり、行政の縦割り解消にもつながるのではないか

(事務局)

- ・補助金活用事業の具体例として、居場所づくりや自然環境保全、歴史文化の継承などが多い。
- ・市民協働事業提案制度は募集テーマの見直しを行ったものの、提案がない状況が続いており、制度のあり方を検討している。

(委員)

- ・ゆるつな茶話会は、参加者から 100 円上限でカンパをいただき、自由に飲み物やお茶菓子をつまみながら交流ができる。気軽に立ち寄れ、つながりの場としてとても良い。参加人数も増えている。

(委員)

- ・ゆるつな茶話会には移住者が交流の場を求めて参加している様子がある。地域につながるきっかけとして有効。地元住民の参加も促したい。
- ・市民活動サポートセンターの登録団体の状況について、事務局から新委員に紹介してほしい。

(事務局)

- ・市民活動団体は現在 118 団体が登録され、毎年増加傾向にある。加えて市内 83 区も登録。
- ・活動は NPO 法に規定のような多様な分野にわたっている。これからは自治会と市民活動団体の連携も重要になる。自治会にも市民活動サポートセンターを積極的に活用してほしい。

③ 令和 8 年度に市が市民等と実施する協働事業について

(事務局から説明：以下要点)

- ・令和 8 年度に市と市民等が協働で実施する 56 事業を一覧資料で紹介。
- ・年度末には事業概要をまとめた事例集を作成・公表する予定であることを説明。

※質問等なし

④ 先進地視察研修について

(事務局から説明：以下要点)

- ・先進地視察研修について、市民活動サポートセンターの機能充実を目的に、市民活動支援や市民参加の仕組みづくりに取り組む、立川市子ども未来センターを視察先に選定した。
- ・事前質問の提出や出欠の報告を 8 月 5 日までにを行うよう依頼。

(委員)

- ・立川市と安曇野市では人口構成や地域課題が異なることから、視察をしても安曇野市で活かさないことも想定される。
- ・地域特性を踏まえた具体的な質問を整理して、安曇野市の課題解決につながる視点で視察を行う必要がある。

(委員)

- ・質問したいことは沢山あるが、絞って聞く方が良い。

(委員)

- ・都市部の先進事例を学ぶことで、将来の地域課題への気づきや新たな視点が得られるため、安曇野市の取組の参考として大変有意義であり期待している。

(6) その他

(事務局)

- ・委員には市で災害補償保険に加入をしている。万が一、委員会中及び行き帰りで事故等あった場合は、保険の対象となることがある。何かあれば事務局にご連絡いただきたい。
- ・この後、場所を市民活動サポートセンターに移し、今後のセンターの充実について任意参加での意見交換を行いたい。

(委員)

- ・市民活動は行政の縦割りをつなぐ役割を担える。積極的に行政と市民を結び付けていくことが重要と考えて活動している。
- ・立川市視察では地域の違いだけでなく共通する課題にも着目し、安曇野市の地域づくりに活かせる仕組みを学びたい。

(委員)

- ・自治会の回覧文書の周知効果が高いことを実感している。「ゆるつな」などの情報についても回覧板を活用した周知を検討してはどうか。

(委員)

- ・ゆるつな参加者に移住者が多いという話があった。自治会への加入についてネガティブなイメージをもつ方も多いので、ハードルが低い交流の場などの案内を転入手続きに行うことで、そこからのつながりで、最終的に自治会への加入にもつながる可能性が高まるのではないかな。

(委員)

- ・区長会では区の概要や活動を紹介する区紹介カードを各区で作成しており、市の転入手続きの際に配布していただいている。昨年度の区長会専門部会で検討し、来年度に向けて内容を各区更新する予定である。
- ・自治会加入は任意であり、未加入でも不利益が少ないことなどから加入率が低下しており、特に若い世代への加入促進が課題になっている。

(委員)

- ・転入者が地域とのつながりを築きやすい環境を整え、日常的な交流を通じて自然に自治会へ加入できる仕組みづくりが重要だと思う。

(委員)

- ・区の問題は限りなくある。

(7) 閉会

(委員)

- ・活発な意見交換に感謝する。このあと市民活動サポートセンターで意見交換を行う。区の課題も共有し、連携しながら取り組んでいきたい。